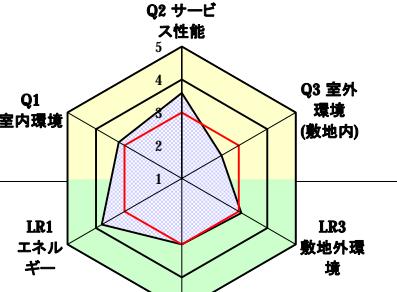
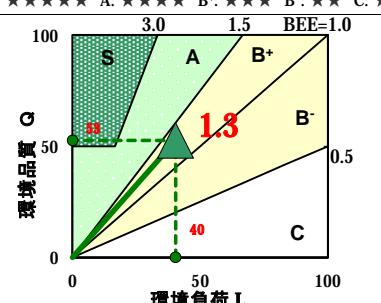
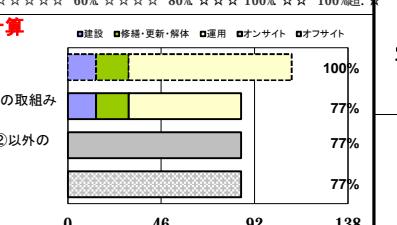


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤本化学製品株式会社泉北工場管理棟建替計画	階数	地上8階
建設地	大阪府泉大津市臨海町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	95 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2023年7月1日
敷地面積	1,584 m <sup>2</sup>	作成者	プラナス株式会社
建築面積	637 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,658 m <sup>2</sup>	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)									
<b>BEE = 1.3</b>  S: ★★★★★ A: ★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ B: ★ C: ★		 30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★		 Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 4 LR1 エネルギー: 3 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3									
 BEE = 1.3		<b>標準計算</b> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>77%</td> </tr> </table> このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の目安で示したもので		①参照値	100	②建築物の取組み	77%	③上記+②以外の	77%	④上記+	77%	 (kg·CO <sub>2</sub> /年·m <sup>2</sup> ) 100% 77% 77% 77% 0 46 92 138	
①参照値	100												
②建築物の取組み	77%												
③上記+②以外の	77%												
④上記+	77%												

2-4 中項目の評価(バーチャート)																																																																	
<b>Q 環境品質</b> <table border="1"> <tr> <td>Q1 室内環境</td> <td>Q1のスコア = 3.2</td> <td>Q2 サービス性能</td> <td>Q2のスコア = 3.6</td> <td>Q3 室外環境 (敷地内)</td> <td>Q3のスコア = 2.4</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>3.2</td> <td>機能性</td> <td>3.6</td> <td>生物環境</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>温熱環境</td> <td>2.7</td> <td>耐用性</td> <td>3.2</td> <td>まちなみ</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>光・視環境</td> <td>3.0</td> <td>対応性</td> <td>3.9</td> <td>地域性</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>空気質環境</td> <td>4.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			Q1 室内環境	Q1のスコア = 3.2	Q2 サービス性能	Q2のスコア = 3.6	Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 2.4	音環境	3.2	機能性	3.6	生物環境	1.0	温熱環境	2.7	耐用性	3.2	まちなみ	3.0	光・視環境	3.0	対応性	3.9	地域性	3.0	空気質環境	4.2					<b>LR 環境負荷低減性</b> <table border="1"> <tr> <td>LR1 エネルギー</td> <td>LR1のスコア = 3.8</td> <td>LR2 資源・マテリアル</td> <td>LR2のスコア = 3.0</td> <td>LR3 敷地外環境</td> <td>LR3のスコア = 3.1</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の</td> <td>5.0</td> <td>水資源</td> <td>3.4</td> <td>地球温暖化</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>自然エネ</td> <td>3.0</td> <td>非再生材料の</td> <td>2.8</td> <td>地域環境</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>設備シス</td> <td>4.1</td> <td>汚染物質</td> <td>3.0</td> <td>周辺環境</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>効率的</td> <td>2.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			LR1 エネルギー	LR1のスコア = 3.8	LR2 資源・マテリアル	LR2のスコア = 3.0	LR3 敷地外環境	LR3のスコア = 3.1	建物外皮の	5.0	水資源	3.4	地球温暖化	3.9	自然エネ	3.0	非再生材料の	2.8	地域環境	2.5	設備シス	4.1	汚染物質	3.0	周辺環境	3.0	効率的	2.5				
Q1 室内環境	Q1のスコア = 3.2	Q2 サービス性能	Q2のスコア = 3.6	Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 2.4																																																												
音環境	3.2	機能性	3.6	生物環境	1.0																																																												
温熱環境	2.7	耐用性	3.2	まちなみ	3.0																																																												
光・視環境	3.0	対応性	3.9	地域性	3.0																																																												
空気質環境	4.2																																																																
LR1 エネルギー	LR1のスコア = 3.8	LR2 資源・マテリアル	LR2のスコア = 3.0	LR3 敷地外環境	LR3のスコア = 3.1																																																												
建物外皮の	5.0	水資源	3.4	地球温暖化	3.9																																																												
自然エネ	3.0	非再生材料の	2.8	地域環境	2.5																																																												
設備シス	4.1	汚染物質	3.0	周辺環境	3.0																																																												
効率的	2.5																																																																
<b>3 設計上の配慮事項</b>																																																																	
<b>総合</b> 利用者に配慮し、F★★★★を使用している。			<b>その他</b> 0																																																														
<b>Q1 室内環境</b> F★★★★を使用している。		<b>Q2 サービス性能</b> 機能性に関して使いやすさ等に配慮した計画とする 耐用性・信頼性に関しては可能な限り長寿命な設備の導入 対応性・更新性に関して設備に関しての更新性に特に配慮する		<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 道路に沿った緑化計画により良好な景観を形成できる計画としている。																																																													
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能が高い材料を使用している。		<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材料等を積極的に利用する		<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な車両出入口幅・駐車・駐輪場の設置により、周辺の混雑防止と交通安全に配慮している。																																																													

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	藤本化学製品 泉北工場 管理棟					
	建設地	大阪府泉大津市臨海町					
	用途／区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+		
①	CO2削減				4		
②	みどり・ヒート アイランド対策				2		
③	建物の断熱性				5		
④	エネルギー削減				4		
⑤	自然エネルギー直接利用				—		
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	
	エネルギー消費量の報告						
【評価項目】							
項目	評価内容				スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.1	4	
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他							
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項				
特に配慮した事項							